

令和6年度の森林環境譲与税に関する決算状況一覧

1 活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（千円）	44,420	21,567	65,987	68%	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備を計画的かつ安定的に進めていくため、南富良野町私有林等環境保全整備事業補助金に活用 ・町内の公共施設等の建て替えに際して、地域材の活用を検討中
譲与額（千円）	70,448	26,302	96,750		
基金積立額（千円）	26,028	4,735	30,763		

2 令和6年度の具体的な活用状況

事業区分	事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績
			うち森林環境譲与税（千円）		
私有林整備	令和6年度 南富良野町私有林等環境保全整備事業補助金	11,138	11,138	地域森林計画の対象とする南富良野町内の私有林等において、森林経営計画の作成者等が、既存の公共事業等にとらわれず地域の森林整備を更に推進するために実施する、間伐等の森林施業及び森林作業道の修繕等に対する補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・人工造林：0.40ha ・間伐：25.22ha ・作業道修繕：794m ・森林管理道等除雪：14.12km
担い手の就業環境整備	令和6年度 林業労働安全・機械化推進事業補助金	2,070	2,070	林業労働災害の抑制及び林業従事者の安全意識の向上並びに就労環境の維持・改善を通じた林業従事者の定着を図ることを目的として実施する、町内林業事業体を対象とした、労働安全装備品等の購入及び林業機械等の購入・リースに対する補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全装備品等の購入：3件 ・林業機械等リース：1件
専門員の雇用	地域林政アドバイザーの雇用	6,051	2,551	森林経営管理制度の運用、森林整備センターとの分収造林事業の実施等に関して地域林政アドバイザーを雇用する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域林政アドバイザーの雇用：1名 ・意向調査を基に森林整備を行った面積の合計：19.52ha（R6年度末時点）

木造公共建築物等の整備	道の駅物産センターの改修	167,739	5,808	道の駅物産センターの改修に伴い、道産材の家具・什器を導入	・道産材利用量：1.9522m3
合計		186,998	21,567		

3 税導入の効果

- ・南富良野町私有林等環境保全整備事業補助金により町内の私有林整備が推進されたことで、森林の有する多面的機能が維持・増進され、森林環境の保全が図られた。
- ・林業労働安全・機械化推進事業補助金により町内の林業労働安全性の向上及び軽労化・省力化が推進されたことで、林業担い手の定着と着実な森林整備が図られた。
- ・地域林政アドバイザーを1名雇用することで、町における専門人材が補強されるとともに森林経営管理制度に基づく森林整備の推進が図られた。
- ・道の駅物産センターの改修に伴い道産木材の家具・什器を導入することで、訪れる人々に道産木材の温もりや木材の地産地消について普及啓発する機会の創出が図られた。

【詳細】

本町では面積で約8割の私有林が森林経営計画を作成しており、これまでも公共事業等を活用して計画的な森林の整備に努めてまいりましたが、公共事業等では一定以上の林齢の森林に対する間伐は補助対象外となっていることから、長伐期施業を推進し難い状況となっておりますが、南富良野町私有林等環境保全整備事業補助金においては高齢級の間伐を補助メニューとしていることから、作業道の修繕や路網の除雪と併せて長伐期を志向する森林において間伐を実施できたことで更なる森林整備の促進を図ることができました。更に、令和5年度に野ねずみによる被害が発生した造林地に対する再造林を実施することで、森林の有する多面的機能の早期回復を図ることができました。

労働安全・機械化推進事業補助金においては、フォワード用スパイクやエビペン注射等の購入を通じた労働安全性の向上、キャリアダンプのリースを通じた造材・集材作業の軽労化・効率化が図られました。

町の林務担当職員が1名であることから、その補佐や助言を行うための専門人材として地域林政アドバイザーを1名雇用し、森林経営管理制度に係る森林管理意向調査や、その意向を基にした森林整備を行い、更なる私有林整備を推進することができました。

道の駅物産センターは昭和63年に建設されて以降、町の観光拠点として重要な役割を果たしてきましたが、建物の老朽化等が進んだことにより改修を行うこととなりました。物産センターには隣接したアウトドアショップや飲食店、公園といった複合施設があり、今後も観光客の交流拠点となることを見込まれることから、利用者の触れる機会が多い家具や什器に道産木材を活用することで、森林の町でもある南富良野町のPRを行うことができました。